予算特別委員会の審査報告

市長公室・安心まち室・総務・消防

問　公共交通対策費５０００万円の補助金の目的は。

安心まちづくり室長　バス路線の再編を行うための補助金。目的は、市民の交通手段の確保と、地域の活性化につなげること。バス会社に助成をしながら、路線を維持しなければならない。今後、検証委員会では、無駄な経費をなくしつつ、かつ、地域の事情なども考慮し検討いただきたい。

問　公用車のリースについて。

管財情報課長　10年間リースすると車体価格より高くなるが、車検や修繕等維持費を軽減できる。新たな試みとして２台導入した。

問　エアテント購入とは、どのようなものか。

消防署長　災害対策用で、多数の傷病者が発生した場合に、応急救護所として、重傷者の救護スペースとなる。13名から15名が収容できる。約３分で設営可能。

問　構造改革でさらに厳しくなる市民生活だが、それでも行政改革を進めるのか。

副市長　粛々と行うということではない。市民生活の実態を把握した上で、中には見直しもあるかもしれないが、可能なものから実行していく。

市民

問　今年度から京都地方税機構により税収納されるが、徴収率の目標は。

税務課長　98％まで引き上げたい。機構と連絡をとりながら、市でも納税相談を行うが、すべての滞納案件を送り、滞納整理を進めていただく。

問　コンビニ収納が始まるが、具体的内容は。

税務課長　市・府民税、固定資産税、軽自動車税及び国保税を対象とし、５月から市内18店舗すべてで実施する。市・府民税で約３０００人、軽自動車税で６４００台分をコンビニ納税の対象ととらえている。１件の処理に56円の手数料がかかるが、利便性を高めて収納率を上げたい。

問　男女共同参画条例中間案であいまいな文章が多い、もっと状況に応じた条件整備を行うべきでは。

市民参画課長　法に準拠し、労働環境等が整う中で、本市としてどうできるかということを懇話会で議論して盛り込んでいきたい。

問　国民健康保険の医療給付費がかなり増える見込みだが。

国保医療課長　医療費の伸びと一部の病院でのレセプト請求方法が変更されることで高額医療費となることから増額する。

保健福祉

問　ケアホーム建設整備計画の進捗状況は。

社会福祉課長　開発許可を得て、草内地域に８月着工、年度内完成予定。

問　他市での児童虐待事件を受けて市は。

こども福祉課長　３ケ月、10ケ月、１歳半、３歳半と節目の検診があり、未受診の方に通知し、連絡がとれない場合は訪問が必要と考えている。

経済環境・水道等

問　太陽光発電システム補助金の内容は。

経済環境部副部長　既存住宅への設置、または新築時に併せて設置の場合で、かつ国の補助金の認定を受けられた方に補助する。

環境課長　１件につき１キロワット当たり３万円として、10万円を限度として補助。

問　水道の危機管理対策は。

工務課長　薪浄水場と宮ノ口受水場にコンクリート劣化と簡易耐震調査を行う。また、不審者侵入・テロ対策で天王地区配水池に侵入防止工事を行う。

問　甘南備園プラザ棟の発電システムの概要は。

清掃衛生課長　５キロワットの発電能力のある太陽光パネルを設置し、全体の27％、約86万円が節約できる。本施設は売電するのではなく、学習啓発用として利用する。

問　乙訓水系、宇治水系、木津川水系３水系の接続事業等で府に負担する料金が上がることになるのでは。

経営管理室課長　これらの事業費を含めて示されているもので、府が提示している金額は、１トンあたり６円から８円引き下げになる予定。

しかし、これで市の水道料金の値下げをするところまで及ばない。

建設

問　ＪＲ京田辺駅南側踏切（ＪＲ信楽街道踏切）の設計料が含まれているが、その内容は。

施設整備課長　踏切内に歩道を整備するための概略設計費。事業化は平成23年度以降になる予定。

問　通学路の安全対策事業として、カラー舗装工事が行われるが、どこにどのように行うのか。

施設整備課長　田辺小学校区内で、旧国道３０７号から校門までと田辺中央三丁目内のドラッグストア北側道路、そして松井ケ丘小学校校門前道路の３ケ所で、路側線の通路側約１ｍ幅の部分に行う。

問　手原川堤防の拡幅とあるが、薪小学校通学路整備では、手原川に橋を架ける計画だったのでは。

施設整備課長　橋を架けようとしていたところは、川が湾曲し、落差高があったことから、橋が架けられない規定になっており、道路を拡幅し歩道を整備する計画となった。22年度に用地買収にかかる予定である。

問　公園里親制度の取り組みとは。

施設管理課長　ボランティア団体等が公園や緑地帯等をきれいにされる。そこに草木の提供や掃除用具の貸し出し、保険加入をする制度。この緑化推進の要綱策定を予定。

道路拡幅が予定される
市道里ノ内小山線（薪）

教育

問　平成23年度の国民文化祭のプレイベントは。

教育部副部長　５００日前イベントや11月にはとんち大賞や人形劇の祭典を予定している。ＰＲに力を入れる。

問　学校の耐震改修は計画どおりか。

教育総務室課長　大住小体育館はIs値を満たしていたため補強工事が不要となったことから、23年度予定していた薪小南校舎の工事を今年度行うよう計画変更した。

問　中央図書館のインターネット予約事業は

中央図書館長　貸し出し中の図書しか予約できなかったが、今後図書館にあるすべての図書を予約できるようにする。北部も中部も同様に。

問　学校給食の民間委託について、21年度と比較して学校給食費は下がるか。

学校教育課指導主幹　20年度決算比となるが、約１２００万円の増額となる。

教育部長　長期的な試算では、財政効果は十分期待できると考える。

問　（普賢寺小学校）スクールバス廃止を白紙撤回した意味は。

教育部長　白紙撤回したというところまでで、方針を決定したわけではない。

教育長　今後、将来展望も含めて考えていかなければならない課題である。

問　２５７㎡以上のグループホームにスプリンクラーの設置義務があるが、市内施設の状況は。

健康介護課長　３ケ所あるが、１ケ所は設置基準以下の面積。しかし、その施設も設置する予定と聞いている。

問　北部地域の保育所が建て替えられることで、見込みまれる定員は、大丈夫か。

こども福祉課長　90人の枠が新たに増やせる。当面は十分な受け皿と考える。

問　老人福祉センターへのバス料金の半額を補助する内容と方法は。

健康介護課統括主幹　利用者宅の最寄りのバス停から老人福祉センターへの往路のバス料金相当額を補助。利用日に確認印を押し、まとめて月１回の申請とし、口座振り込みで支払う。

花見ウォークで国民文化祭をＰＲ
（防賀川公園）

―総括審査（各会派の意見）―

緑政会

厳しい財政状況が続くと予測される中、徹底的に無駄を省いて行財政改革を進めること。大住地域の工専拡大事業以外にも、税徴収業務の強化など安定した財源確保の取り組みに期待したい。安心安全な通学路を確保するために、現状把握に努めながら建設部と教育委員会がしっかりと連携して取り組むこと。

一新会

税の大幅減収が見込まれる中、新年度も積極型予算を編成、子育て支援や市民要望実現予算の特別枠で市民ニーズに可能な限り応えていこうとする姿勢には一定の評価をしたい。雇用情勢も依然厳しい中、活性化プログラム総仕上げの年として、財政健全化計画の推進と市民が希望を持てる市政運営に期待したい。

共産党

行政改革の名のもとで今年度から学校給食調理業務の民間委託が実施される。教育の一環である学校給食への民間委託は見直すべきである。市民の暮らし応援のため、都市計画税、国保税の引き下げを求める。三山木地区区画整理事業の予算増をともなう変更は、市民負担の押しつけである。見直すべきだ。

新栄会

市の厳しい財政状況の中ではあるが、各部署ごとに市民に向けた積極的な施策に取り組まれている事に注目したい。現在取り組み中の第３次行政改革および財政健全化計画は平成22年度が最終年度である。本市の厳しい財政状況から見て、引き続き第４次とも言うべき行財政改革に着手して取り進めていただきたい。

公明党

現地現場主義の上から、市民の要望を直接受け、政策実施する市民満足予算に市長の実行力に期待。さらに、子育て支援と女性施策として、子宮頸がんワクチンの公費助成を市独自での実施をすべき。地球温暖化防止に向け、太陽光エネルギーの積極的活用と促進について、市が率先して公共施設への導入を進めよ。

民主党

市内バス路線再編事業について評価。各地域、行政の連携した取り組みで持続、発展させる必要がある。今後高齢者の絶対数は一層増加する。介護施設の待機者解消に向けて国の施策と連携し特養等の施設整備に機敏な対応を求める。ごみ処理や消防などについて市単独ではなく広域連携を積極的に検討すべき。